

千葉県社保協通信

2015年度 — No9 2015年 12月 2日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

65歳の壁 — 天海正克さんが 提訴 — 障害者を年齢で差別するな！

障害者総合支援法第7条は「介護保険からサービスを受けられるときは支援法のサービスを支給しない」としています。

天海正克さん（千葉市在住66歳）は、介護保険を申請しなかったため、65歳で障害者福祉サービスを打ち切られました。子どもの頃から障害者である天海さんは「社会参加を目的とする障害者福祉サービスを受ける権利がある」「障害年金など13万円の収入の中から、それまで無料であった利用料が、介護保険では月々1万5千円かかり、福祉サービスの打ち切りは許せない」と千葉市を相手取り、訴訟に踏み切りました。



— 弁護士・支援者とともに —

11月27日提訴の日、千葉地裁前では天海さんとともに弁護士や支援の人々が次々とマイクを握って「障害者を年齢で差別するな」「介護保険へ強制移行させることは憲法と障害者権利条約違反」などと訴えました。



↑ 支援に駆け付けた共産党寺尾さとし議員・丸山慎一議員が訴え。

訴状提出後、県庁周辺の羽衣橋上でチラシ配り、訴訟の支援と「障害者総合支援法の第7条（介護保険優先）の廃止等を求める」署名への協力を訴えました。冷たい風の中でしたが、通行の人々が足を止め13筆の署名が集まりました。

記者会見は4社が出席、「朝日」「赤旗」「千葉日報」の3紙が報道しました。

保険料軽減・健康づくり支援など制度改善は急務 — 県後期高齢者医療広域連合議会 —

「平成27年度第2回千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会」が11月18日開催され、26年度一般会計及び特別会計の決算認定について、27年度一般会計及び特別会計の補正予算の議案が審議され可決されました。

消費税増税や年金切り下げのもと、さらに保険料の特例軽減措置の廃止が狙われています。保険料軽減や健康づくりの支援など、制度の改善が急務となっています。

岩井友子議員（船橋市）は、高齢者の相談事例から減免制度の周知方法の改善を提案。野中真弓議員（大多喜町）は、専門用語をなくし広報をわかりやすくする工夫を要望。石井芳清議員（御宿町）は、契約事務の問題点を指摘し、5000億円にのぼる事業費をチェックする決算委員会などの設置を提案。谷岡隆議員（習志野市）は来年度の保険料改定に向けて少しでも軽減できるよう基金の運用改善や国への働きかけを要望しました。

昼休みを過ぎると退席する議員が目立ち、定数ぎりぎりでの採決となりました。傍聴した岩永悼俊さん（私学退職教職員会の会）は「質問したのは共産党議員だけ。日頃不安に思っていることなど、解りやすく質問してくれた」と話しました。県社保協、年金者組合などから4人が傍聴しました。

第9回

労働・生活・健康 なんでも相談会 in 松戸

日時 12月25日（金）

10時～14時

場所 松戸駅西口デッキ

電話相談 04-7163-7843

— 10時～15時 —

●ひとりで悩まずご相談ください。
弁護士・社労士・医師など専門スタッフが
相談に応じます。〈秘密厳守・無料〉

主催：ちば派遣村 in 東葛実行委員会
(東葛ユニオン内) TEL:04-7163-7843